

## せいめい小委員会議事録 (2026 年 6 月)

日時: 2026/6/22 09:00-12:00、2025/6/23 16:00-18:00、2026/6/26 15:00-17:00

### 出席者

委員: 伊藤 (兵庫県立大)、志達 (愛媛大)、田中 (東北大、委員長)、鳥羽 (立命館大)、新納 (東大)、増田 (大阪大)

陪席: 田實 (NAOJ)、野上 (京大)

オブザーバー: 泉浦、前原 (NAOJ)

---

### 議題・報告

#### 1. 観測提案の審査

※審査に関わる議事録は非公開

#### 2. 次期の公募要領に向けた意見・提案

- 募集要項の変更 (余計な図は削除, ページ数を超えたら reject)
- 分野外の人がレフェリーをしていることがある

レフェリーの分野

大まかには

- ・ 恒星・系外惑星・系内天体・星形成
- ・ コンパクト天体
- ・ 系外銀河
- ・ 突発天体・高エネルギー天体 (ToO 的)

の 4 つぐらい。この情報は公開するのが良いか (自分と近い分野の人が読むわけでないことを理解してもらう)

Scientific Category が細かすぎるかもしれないので、再考する価値がありそう

=> 前原さんに案を考えてもらう

※UM でユーザーに聞きたいこと

- 採択の大きな方針

採択率が高いが、最高でも 8 割ぐらいの採択。

採択率が低くて、通ったプロポーザルは満額来るのとどちらが良い？

今のところは、なるべく新規参入を歓迎したい。

- 継続の課題が増えてきたことに関する影響

継続の課題が増えてきた (GAOS-RV から 3 年) => 新規が採択されにくい

改善点を書いて欲しい

全体の規模感を書いてもらうのが良いか

今何回目 (どの地点にいるのか)、継続する理由を書く欄があると良い

(採択夜数、天気にも依るが有用な情報)

- 大きな申請について
  - ✓ Normal プログラム申請夜数の上限がなくて良いか？（全体は60夜しかない）
  - ✓ UM で発表してもらう基準？ 多くやっている人（intensive 級）
- 多様性・新規参加の方向
  - ✓ 学生を優遇すべき？（特に Classical, New が難しい）
    - 京都の学生はちょっと違うか（正式には書きづらい）=> 本心は京都以外の学生を増やしたい
    - TAC でそれなりに判断している
  - ✓ 「お試し」があまり機能していない（特に暗い天体, KOOLS-IFU なら撮れば論文が出せるが）
    - お試しのものは UM で積極的に発表してもらう？(negative results でも、意見を聞きたい)
- プロポーザルの書き方
  - ✓ せいめいでやる意味・意義を書いて欲しい
- 結果の返し方
  - ✓ 全体の順位の目安をつける？
    - (A ~ E の人数は既につけてある)

※観測所側で対応が必要なこと

- 装置間のバランスを考える時期か => 可視化しておくのが良さそう
- 本当の限界等級は？（ETC）